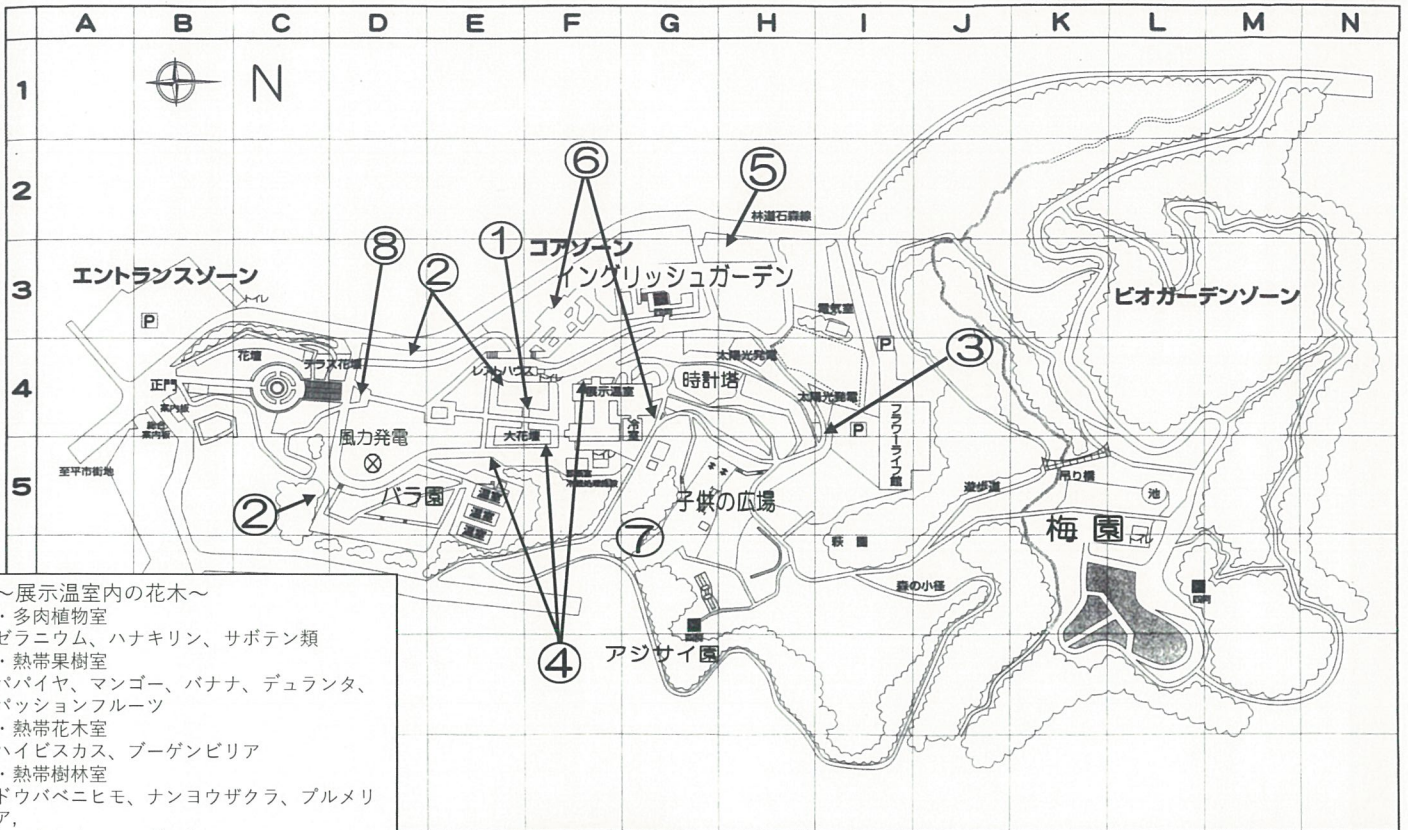


# フラワーセンター【7月の花】

2019年度

※園内の植物の盗難が相次いでいます。

園内の植物は絶対にとらないでください。



## ①ペゴニア（大花壇）



シュウカイドウ科 多年草（一年草扱い） 原産：熱帯、亜熱帯地域  
 多年草中には多肉質な木質になる茎をもつ品種もあります。  
 なかでも四季咲きペゴニアはペゴニア・センパフローレンスと  
 もいい、ブラジル原産のほぼ周年開花する品種を掛け合わせら  
 れた園芸品種群です。花色は白・ピンク・赤などがありハート  
 形の花弁が愛らしく人気があります。

## ②アガパンサス （レストハウス下、テラス花壇他）



ユリ科 多年草 原産：南アフリカ  
 見た目がクンシランに似ていることから和名で「ムラサキ  
 クンシラン」と呼ばれますが、クンシランとは全くの別物  
 です。  
 梅雨時期から明けくらいに花を咲かせます。

## ③タイサンボク （フラワーライフ館前駐車場脇の園路沿い）



モクレン科 常緑高木 原産：アメリカ  
 6月頃に花径15cmほどの白い花を咲かせ、高さは10～20m  
 くらいになります。漢字で「泰山木」と書くので中国原産  
 のイメージがありますが、実は原産地はアメリカです。花  
 も大きいですが葉も大きく、20cmくらいあります。

## ④ヘメロカリス （展示温室の外西側、大花壇脇）



ワスレグサ科 多年草 原産：園芸品種（東南アジア）  
 ヘメロカリスは、花がたった1日しかもたないことから、  
 「デイリリー」の別名でも呼ばれています。日本や中国原産  
 のユウスゲやカンゾウなどがヨーロッパで品種改良されて  
 できた園芸品種を一般にヘメロカリスと呼んでいます。

## ⑤イングリッシュラベンダー （イングリッシュガーデン）



シンソ科 常緑低木 原産：地中海沿岸  
 数あるハーブのなかでも最も人気の高いのがラベンダーで  
 す。鮮やかな紫色と心地よい香りが魅力のハーブです。木  
 本性ですが、草花として扱われることが多く、花壇の植え  
 込みやコンテナ栽培などで楽しまれています。

## ⑥ヒペリカム （イングリッシュガーデン・展示温室北側）



オトギリソウ科 原産：中央アジア～地中海沿岸  
 一年草から多年草、低木まで、その形態は多岐に渡りま  
 すが、観賞用として栽培されるのは美しい花を咲かせる低木  
 です。花期になると、伸びた枝先に、鮮やかな黄色の花を  
 咲かせます。花は径3～7cm程度で5枚の花弁を持ち、多数  
 ある雄しべが特徴的です。

## ⑦アジサイ （子供の広場の東側アジサイ園）



ユキノシタ科 落葉低木 原産：日本  
 6～7月にピンク、白、紫、青などの花を咲かせます。一  
 般に花と言われている部分は装飾花で、本来の花はその中  
 心部で小さく目立ちません。花の色は、土壌が酸性なら  
 青、アルカリ性なら赤の花が咲くと言われています。

## ⑧ランタナ （正門から大階段を上って正面の花壇）



クマツヅラ科 常緑低木 原産：熱帯アメリカ・アフリカ  
 7～11月の高温期に小さな花を多数集めて傘状に咲かせま  
 す。花の色が橙から赤というように変化していくので、  
 「七変化」の別名があります。開花期間が長く、丈夫なの  
 で、鉢物としてよく流通するほか、花壇などにも利用され  
 ます。